

ハウステンボスから始まる地産地消

日本初の自家消費型ソーラーシェアリング・ブルーベリー観光農園

2019 年 6 月稼働予定

ハウステンボスでは、再生可能エネルギーの生産と場内食料自給率向上を同時並行で実現できる、新たな事業を実施致します。本事業は、日本初の自家消費型ソーラーシェアリングⁱの活用を通じて、①再生可能エネルギー使用比率向上による温室効果ガス排出量の削減、②電力・一次産品の地産地消の推進、③ご来場されるお客様の環境・再生可能エネルギーに対する理解促進を目指します。また、次世代型農業事業として、日本初の自家消費型ソーラーシェアリング・次世代型農業事業は、『平成 30 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金』ⁱⁱ（再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業）採択が決定しました。

ハウステンボス場内で使用する電力と農作物を効率的に作ることで、今後も生産性・お客様満足度の向上、延いては地球環境温暖化対策への寄与を進めてまいります。

概要

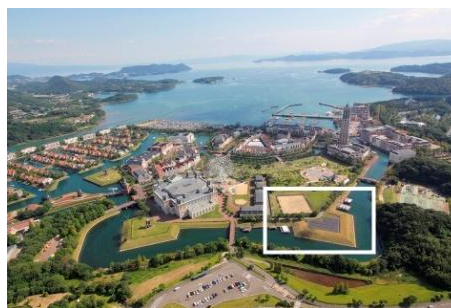
- 【事業】 自家消費型太陽光発電事業 + ブルーベリー観光農園
【場所】 アートガーデン内バスチオン広場
【開業日】 2019 年 6 月稼働（予定）
【広さ】 約 2,300 m²で太陽光発電、中心部の平地 1,681 m²でブルーベリー栽培

環境価値

- ① ソーラーシェアリングによる発電量 142,157 kWh
② 年間 CO2 削減量 74.08 トン
③ 観光農園をご訪問いただくお客様の環境・再生可能エネルギーに対する理解促進



<自家消費型ソーラーシェアリング>



<ハウステンボスの中での設置予定位置>

以上

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》
ハウステンボス株式会社 経営企画室 中野・下垣
TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025
<http://www.huistenbosch.co.jp>

ⁱ農地に支柱を立て、その下で農業を継続しながら太陽光発電をする「営農継続型太陽光発電」

ⁱⁱ 環境省から公益財団法人日本環境協会が交付決定を受けた補助金